

あの手 この手

2月号
2014



“大和市の”シリーズ(11)
～協働:大和市民活動センター～
4ページをご覧ください。

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第79号 2014年2月1日発行



「寒さに負けるな！」元気な小学校児童たちが小田急線の高座渋谷駅わきの踏切を列をつくって下校です。この近くからは雪をかぶった“冬の富士”がきれいに見えます。

大和の駅6回シリーズ・その5 高座渋谷駅 絵・大澄 剛
大和市在住の漫画家。『このゆびとまれ』(日本文芸社刊) 発売中
今月、2月8日(土)に『このゆびとまれ』第2巻も 発売です。



今、冬の季節「泉の森」(大和市)内にある自然観察センター「しらかしのいえ」の前に広がる上草柳調整池はカモの群れでにぎわっている。大小さまざまな、カラフルなカモがいると思うと、全身黒っぽいカモもいる。種類が違うのか、雄(オス)雌(メス)の違いなのか、どうにもわからないまま何年も経ってしまっている。大和市の北端にある「つるま自然の森」も観察のフィールドになっている。東林野鳥の会の方から県立相模原公園研修室で「おもしろ野鳥セミナー」を持ちますと聞き、出かけた。講師の石田スーザンさんがカモの雌雄の見分け方をかなりの時間を割いて説明してくれたのでいっぱしのカモ博士になった気がした。

このセミナーを主催した東林野鳥の会は25年目の会。毎月、野鳥観察会を開催し、例えば「つるま自然の森」では年間40種前後の野鳥を確認、記録し、データを蓄積してきている。その過去と現在の記録から説得力のある「未来の街のなかの豊かな自然の姿」はどうであったらいいのか、具体的に確かなイメージの街づくりが構築できそうだ。(毛が3本)



<今月号掲載>

- 第61回、62回連続共育セミナー、H. 26年度市民活動推進補助金、「イーパーツ」リユースPC寄贈プログラムp.2
- ボランティアバスのお知らせ、災害時ボランティアセンター立ち上げ訓練p.3
- FMやまと「やまとっ☆みつけた」第201・202回、“大和市の”シリーズ(11)「協働」p.4

*「あの手この手」は大和市民活動センターのHPではカラーでご覧になれます。

今年は大和市民活動センター設立10周年

次回の第 62 回連続共育セミナーは

助成金、協働事業申請のためのお役立ち講座「“NO”と言わせない提案書の書き方」

日時:3月19日(水)18:00~20:00

場所:大和市民活動センター

講師:鈴野和重さん

(座間市相互提案型協働事業審議委員

NPO 法人 相模川倶楽部代表理事)

申し込み締め切り:3月15日(土)

助成金事業・制度を熟知されている鈴野和重さんが事業審議員の立場から「助成金を獲得するコツを学ぶ」「読む人を納得させる企画書作り・提案書の書き方」などについてお話していただきます。



第 61 回連続共育セミナーレポート

市民活動団体のニーズにぴったり、使い分けがわかった「今どきの広報事情」~Webを活用しての広報~

1月29日(水)14:00~16:00に開催しました

講師には日本財団 CANPAN プロジェクトの山田泰久さんをお招きして、お隣、商工会議所から机をお借りする程の会議室一杯の盛況ぶりでした。HP をパンフレットに例えるならブログは日々の活動報告。ツイッターはミニブログ(140文字)として、また facebook は個人・団体のネットをひろげた情報発信…特徴や活用方法を分かり易くまとめたセミナーでした。関心の高かったのは無料で広告がつかない「CANPAN ブログ」。そして応用の広さに驚きました。「団体情報発信」のことばかり気にしていたのですが、ネットワークに入るとい

うことは逆の立場から事例を学ぶ、そしてNPOや市民活動に大切な「助成プログラム」「事業成果報告」「申請・報告書」「財政・NPO会計基準書式」「事業フォーマット」などを得る立場にあることだと気づきました。最後に「今日の話聞いて、先ずやろう!と思ったことを書き出して、グループで共有しましょう」と言われました。感想文に「そうだ、聞いているだけでは駄目なんだ。早速やらなくては!」の意見がありました。私たちの漠然とした思いを一步前進、背中を後ろから押してくれたセミナーでした。(N.M)

「センターに行ってもよかった」

平成 26 年度市民活動推進補助金申請のための企画書作成の相談・説明会を市民活動センターにて開催。

市民活動推進補助金募集にあたって、事業計画、企画書作成の相談会を開催しました。1月6日(月)~17日(金)までの間に相談された6団体に、市民活動課の職員と共にセンタースタッフも相談に応じました。

行政からのアドバイスはもちろん、市民活動する側からのアドバイスにも熱心に耳を傾け、企画書の修正など、すぐに役立つ相談会が実施できました。

その後、2月7日(金)までの間に団体との個別協議を実施し、補助金申請の支援をしていきます。

応募する団体は、3月15日(土)勤労福祉会館3階ホールにての公開プレゼンテーションに向けて、事業内容を練り上げていってください。

活動を継続
させるため
に補助金が
必要なんです
よ。

この部分は
明確に表
現したほう
が...

食事はどこにい
てもしませんが
で、食料費の計
上はね



「センター」のある日ある時

1月16日(木) くもり

センター隣りの建て替え工事が進行中。水道の配管工事は、スコープでの力作業とばかり思っていたら、ショベルカーが運ばれての大規模工事。倉庫を移動することなく、短時間で見事に倉庫の下に水道管を通してしまった。工事の後、砂利を敷き詰め、地盤の整地をしてくれました。今まで、大雨が降ると心配していた雨水が川のように流れたり、見えない窪みに足をとられることなど、今後はないと思いますが...

第9回かながわ
イーパーツ
リユースPC
寄贈プログラム

今回の応募期間 2013年12月20日(金)~2014年1月31日(金)。2月17日(月)の選考会、3月9日(日)の寄贈式が楽しみです。このプログラムを広めながら団体との交流、また神奈川県内の市民活動センター同士の話し合いも増えてきました。このグループ域では45台の寄贈予定ですが、大和市民活動センター登録団体からは今回1件(PC2台)の応募でした。今回、間に合わなかったいくつかの団体は、次回に向かって準備を始めたようです。

ボランティアは、やってみたら面白い 何ができるか、きっかけの一步



さあ、出発

ボランティア見学会 市内バスツアー

日時: 3月13日(木)10:00~16:00
 集合場所: 大和市民活動センター
 主催: 大和市民活動課
 申込み: 市民活動課 TEL:046-260-5103
 市民活動センター TEL:046-260-2586
 申込み締切: 3月11日(火)

大和市民活動センター

スタッフが添乗して「センター」の役割りや、こんなこともボランティア?というボランティアの幅広い活動などの説明をしながら行きます。帰ってきてからは、ボランティア現場で役に立つおりがみを体験。

老人福祉施設・みなみ風

長年、社会を支え活躍してきた人生の先輩に敬意を払い、愛を持ってケアをしている実践現場を見学します。どんなボランティア活動があるのか、ご自分の目で確かめてください。



自然観察センター・しらかしのいえ

「しらかしのいえボランティア協議会」の中に、自然案内・泉の森ガイド・野鳥・環境管理・柳とあそぼう引地川の5部会があります。泉の森を訪れる人に自然の素晴らしさを伝えたり、森を明るく保つために伐採した木をシイタケ栽培に利用したり、散策道を保つための柵に使ったり等、ボランティアの活動はまさに森の保全の主役です。

運がよければ、ボクに会えるよ。

センターに到着です



カワセミ

配食サービスのお弁当を用意(有料)してあります。

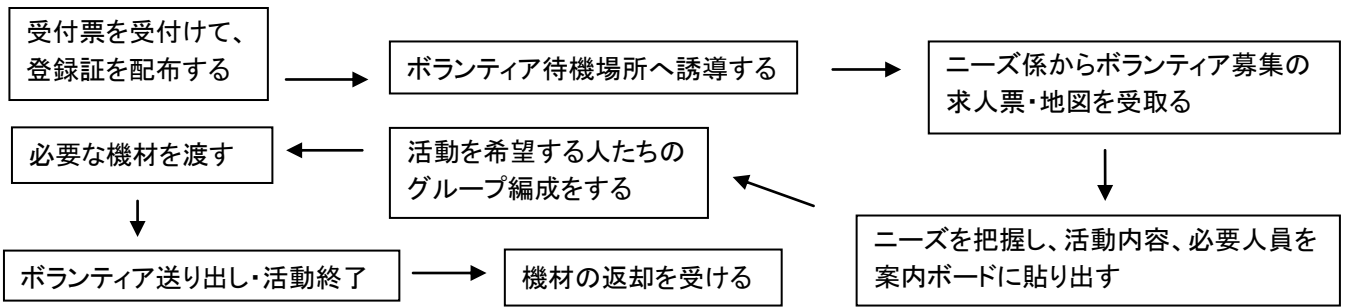


大切なのは、ニーズを把握してコーディネートすること

平成25年度災害ボランティアコーディネーター養成講座の3回目「災害時ボランティアセンター」運営訓練

日時: 1月11日(土)10:00~16:30
 主催: 大和市民社会福祉協議会
 場所: 保健福祉センター

実際に、以下の役割を実践形式で体験しました。コーディネーターとボランティア両方を体験。ボランティアは、自らの安全を確保して活動することを学びました。



災害時ボランティアセンターとは・・・

地震などの災害時に、全国から集まるボランティア活動をしたい人と、ボランティア活動を必要とする人とをつなげるところです。市民活動センターは運営に参加します。

